

夏の番外として、今回は「標高2600m。雲上の別天地中央アルプス千畳敷カールと爽快トロッコ列車赤沢森林鉄道」と銘打った「クラブツーリズム」のバスツアーを利用して一泊二日で行って来ました。ツアー参加者38名（男性9名女性29名うち4組の夫婦と小学生の2名、若い女性グループと多彩な面々でした。）

初日は新大阪駅から名神・中央道を経由して、木曾山中の赤沢森林休養林に行き。過去に木曾ヒノキの運搬に使われていたトロッコ列車に乗車。往復2.2K・20分に乗車。公園で森林浴を味わって来ました。当日は御岳山のふもと「御岳ゴルフ&リゾートホテル」というゴルフ場のロッジに泊まり。

翌日は中央道経由で駒ヶ根に行き、途中で公営バスに乗り換え（ロープウェイ乗り場までは一般車両の乗り入れができないため）800mの高低差の細い道を上り。標高1600メートルの乗り場から950mの高低差、35度の勾配を60人乗りのゴンドラで空中散歩。7分30秒で2612mの千畳敷カールに到着。下界は天候が回復していましたが、ガスがかかって駒ヶ岳最後まで見えませんでした。約1時間30分の自由時間で遊歩道を歩く。事前の案内では45分・標高差65m・1kmのミニハイキングとあったので、甘く見ていましたが、「45分で1km」が曲者で、足元はガレ場で急な下りや下りで太腿が筋肉痛になるような道で、本来であればステッキが必要な道でした。年配の方々は苦労していました。

道路脇には「ムラサキトラノオ・シモツケソウ・チングルマ・トリカブト」等の高山植物（北村さんに名前を教えてくださいました）が咲いていてお花畑とまではいいませんが、きれいな眺めでした。今年の暑さで2612mの高さで15℃くらいは気温が低いはずが、長袖のシャツと夏物のズボンでも寒さを感じませんでした。若い人で半ズボンや半袖の方もいました。

記

1. 参加者：北村、小瀧2名。
2. 実施日：2025. 8. 4（月）～5（火）。
3. 行程：

- ・1日目、新大阪駅（8：00）→恵那峡SA（12：00昼食12：40）→赤沢公園（14：10トロッコ列車乗車15：30）→御岳ホテル
- ・2日目、ホテル（8：00）→菅の平バス停で乗り換え（10：00）→しらび平ロープウェイ乗り場（10：30）→千畳敷カール（11：00ミニハイキングと昼休憩12：30）→7分30秒のロープウェイ→（12：50土産物売りのピアホールにてクラフトビールで乾杯。）→駒ヶ根IC（14：20）→中央道・名神を経由（19：50）新大阪駅到着。

帰路は中央道の工事渋滞、名神の草津から夕方の長い渋滞に巻き込まれましたが、30分程度の延着で新大阪駅に無事到着。時間も遅いため反省会なしで帰路につきました。

以上



赤沢森林鉄道



千畳敷カールにて



枯れたチングルマ



気温は17.7°C